

JAIRO Cloud & researchmap

機関リポジトリと研究者DBの連携をクラウドヘリフトさせる

オープンアクセス・サミット2014
第2部セッション2「JAIRO Cloudの新展開」

九州大学附属図書館eリソースサービス室
機関リポジトリ推進委員会・技術WG
林 豊 / HAYASHI, Yutaka



∴ 大学の知 ÷ コンテンツ + ひと

あらすじ

- ⑧ 機関リポジトリ（IR）と研究者データベース（DB）の連携は、IRの黎明期から取組が積み重ねられてきた。
- ⑧ IRがJAIRO Cloudへ、研究者DBがresearchmapへ、クラウドサービスへの移行が始まりつつある。
- ⑧ JAIRO Cloudとresearchmapの連携を進めている。その現状と今後の計画を紹介したい。



機関リポジトリと 研究者データベースの連携

連携事例

信州大学HOME

信州大学 | 学術情報オンラインシステムSOAR

HOME SOARとは 研究者総覧 機関リポジトリ 視認度評価分析システム お問い合わせ

研究者総覧

所属教員一覧

学部から選ぶ

人文学部 教育学部 経済学部 理学部 医学部 工学部

農学部 繊維学部 全学教育機構

大学院から選ぶ

経済・社会科学研究科 理工学系研究科 農学研究科 医学系研究科 総合工学系研究科 法曹法学研究科

先鋭領域融合研究群から選ぶ

カーボン科学研究科 理体・エネルギー材料科学研究科 国際ファイバー工学研究科 山岳科学研究科 バイオメディカル研究所

関連組織・施設・プロジェクトから選ぶ

医学部附属病院 総合健康安全センター 総合情報センター 産業教育研究センター 地域情報センター 地域共同研究センター

国際交流センター トビ理体科学研究支援センター サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー アドミッションセンター 産学官・社会連携推進機構 アジア・イノベーション拠点(CO-CO)

学長・理事

http://www.shinshu-u.ac.jp/soar

サイト利用ガイド サイトマップ お問い合わせ 交通アクセス English Page

独立行政法人 物質・材料研究機構 National Institute for Materials Science

サイト内検索:

NIMSについて ニュース・プレス 研究情報 共用設備・技術 外部連携/大学院

研究者

NIMS Researchers Database SAMURAI

ホーム > NIMSについて > 研究者

研究者

キーワード検索

人名で探す

研究ユニットで探す

論文で探す

検索

任意のキーワードから検索します。

人名で探す

氏名 (50音順) から研究者の情報を探します。

研究ユニットで探す

研究ユニットから研究者の情報を探します。

論文から探す

論文からNIMSの研究成果、研究者の情報を探します。

このページの先頭へ

http://samurai.nims.go.jp

連携パターン①

本文リンク（研究者DB→IR）

信州大学 HOME 交通・キャンパス案内 ENGLISH

信州大学 学術情報オンラインシステムSOAR

HOME SOARとは 研究者総覧 機関リポジトリ 視認度評価分析システム お問い合わせ

研究者総覧

Q 研究者、研究内容などで検索 (全ての項目を対象)

検索

項目別検索はこちら

菊池聡 キクチ サトル

所属部署名	人文学部 人文学科 文化情報論・社会学	電話番号	
職名	准教授	FAX番号	
住所		メールアドレス	
		ホームページURL	

更新日: 2013/12/31

プロフィール

研究分野

認知科学
教育心理学
キーワード: 認知心理学, 認知バイアス, 超常現象, 疑似科学信念, 批判的思考

現在の研究課題

超常現象や疑似科学的信念の成立と強化に影響を与える認知バイアス
キーワード: 疑似科学信念, 認知バイアス
批判的思考(クリティカルシンキング)を醸成する要因
キーワード: クリティカルシンキング

所属学会

所属学会
日本心理学会
日本教育心理学会
日本認知心理学会

プロフィール

- 研究分野
- 現在の研究課題
- 所属学会
- 学歴
- 研究業績
- 研究業績(査読・発表論文等)
- 共同研究等希望テーマ
- 研究費
- 教育活動実績
- 総覧

「おたく」ステレオタイプの変遷と秋葉原ブランド
地域ブランド研究, 4:47-78 2008(Dec.)
Keywords: おたく, 秋葉原, テキストマイニング, 対応分析, Otaku, Akihabara, text mining, correspondence analysis

信州大学 HOME 交通・キャンパス案内 ENGLISH

信州大学 学術情報オンラインシステムSOAR

HOME SOARとは 研究者総覧 機関リポジトリ 視認度評価分析システム お問い合わせ

機関リポジトリ

Q 機関リポジトリ検索

検索

詳細検索

一覧から探す

- 学部・研究科別に探す
- タイトル別に探す
- 著者別に探す
- 発行日別に探す

統計

- 高頻度ダウンロード文庫
- アクセス状況

Shinshu University Institutional Repository

- 010 人文学部・文学部・文学研究科 (Faculty & Graduate School of Arts)
- 0102 紀要
- 01024 地域ブランド研究
- Vol. 04

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください: <http://hdl.handle.net/10091/2964>

タイトル:	「おたく」ステレオタイプの変遷と秋葉原ブランド
著者:	菊池, 聡
キーワード:	おたく 秋葉原 テキストマイニング 対応分析 Otaku Akihabara text mining correspondence analysis
発行日:	31-12月-2008
出版者:	地域ブランド研究会事務局
引用:	地域ブランド研究 4: 47-78(2008)
抄録:	90年代終盤以降、「秋葉原」が「おたく」の聖地として、急激に実像を遂げた。この「秋葉原」という地域ブランドの確立は、日本の文化・経済状況の変化にも大きく関係している。「おたく」ステレオタイプの実容と展開に、関心があると思われる。本論文では「おたく」ステレオタイプと秋葉原の関連を明らかにするために、次世代(18-35歳)を対象に、1998年の調査と比較し、その結果、本邦

[FULL TEXT / SOAR](#)

連携パターン② 著者リンク (IR→研究者DB)

信州大学 HOME 交通・キャンパス案内 ENGLISH

信州大学 | 学術情報オンラインシステムSOAR

HOME SOARとは 研究者総覧 機関リポジトリ 視認度評価分析システム お問い合わせ

機関リポジトリ

Q 機関リポジトリ検索

Shinsu University Institutional Repository

- 010 人文学部・大学院人文科学研究科 (Faculty&Graduate School of Arts)
- 0102 紀要
- 01024 地域ブランド研究
- Vol. 04

このアイテムのURLには次の識別子を使用してください: <http://hdl.handle.net/10091/2964>

タイトル: 「あたりステレオタイプの度量と秋葉原ブランド」

著者: 菊池 聡

キーワード: おたく
秋葉原
テキストマイニング
対応分析
Otaku
Akihabara
text mining
correspondence analysis

発行日: 31-12-2008

統計

- 市井度ダウンロード文庫
- アクセス状況

著者:	菊池 聡
キーワード:	おたく

信州大学 HOME 交通・キャンパス案内 ENGLISH

信州大学 | 学術情報オンラインシステムSOAR

HOME SOARとは 研究者総覧 機関リポジトリ 視認度評価分析システム お問い合わせ

研究者総覧

Q 研究者、研究内容などで検索 (全ての項目を対象)

検索

※ 項目別検索はこちら

菊池 聡 キクチ サトル

所属部署名	人文学部 人文学科 文化情報論・社会学	電話番号	
職名	准教授	FAX番号	
住所		メールアドレス	
		ホームページURL	

更新日: 2013/12/31

プロフィール

研究分野

- 現在の研究課題
- 所属学会
- 学歴
- 研究経歴
- 研究活動業績
- 共同研究等希望テーマ
- 研究費
- 教育活動業績
- 授賞等

プロフィール

研究分野

認知科学
教育心理学
キーワード: 認知心理学, 認知バイアス, 超常現象, 類似科学信念, 批判的思考

現在の研究課題

超常現象や類似科学的信念の成立と強化に影響を与える認知バイアス
キーワード: 類似科学信念, 認知バイアス
批判的思考(クリティカルシンキング)を規定する要因
キーワード: クリティカルシンキング

所属学会

所属学会
日本心理学会
日本教育心理学会
日本認知心理学会

所属学会役職担当

Japan Skeptics, 監査委員

学歴

出身大学院・研究科等
1993, 京都大学, 博士, 単位取得満期退学

出身学校・専攻等(大学院を除く)
1987, 京都大学, 教育学部, 卒業

連携パターン③ ついでにセルフアーカイブ

ステップ2 KURA に送りたいファイルをアップロード

下までスクロールすると、「論文ファイル(KURA 送信用)」という項目が出てきます。ここから、論文の全文ファイルをアップロードできます。

KURAのURL	
その他参考情報	※ 学術論文の場合その旨を記載して下さい
論文ファイル(KURA送信用)	C:\Users\1002-026\Documents\My Dropbox\KURAへ論文ファイルを送信する場合にファイルを指定してアップロードできるmerpoint.zipです。
論文ファイル(KURA送信用)2	確認(CRIS(付録1)関係関係.pdf) 参照 削除
論文ファイル(KURA送信用)3	参照 削除
論文ファイル	参照 削除
論文ファイル	参照 削除
論文ファイル	参照 削除
論文ファイル	参照 削除
論文ファイル	参照 削除
論文ファイル	参照 削除
論文ファイル(KURA送信用)10	参照 削除
公開	☐ 公開 ☐ 非公開 解除
並び順	
登録内容確認	

④「参照」ボタンを押した後、KURA に送りたい全文ファイルの置いてある場所を選びます。その後、送りたいファイルを選んで「開く」ボタンを押すと、選択されます。

⑤「登録内容確認」ボタンを押すと、確認画面になります。その後「登録確定」を押すと、登録が完了されます。

金沢大学
早稲田大学
山口大学
JAIST
筑波大学
.....

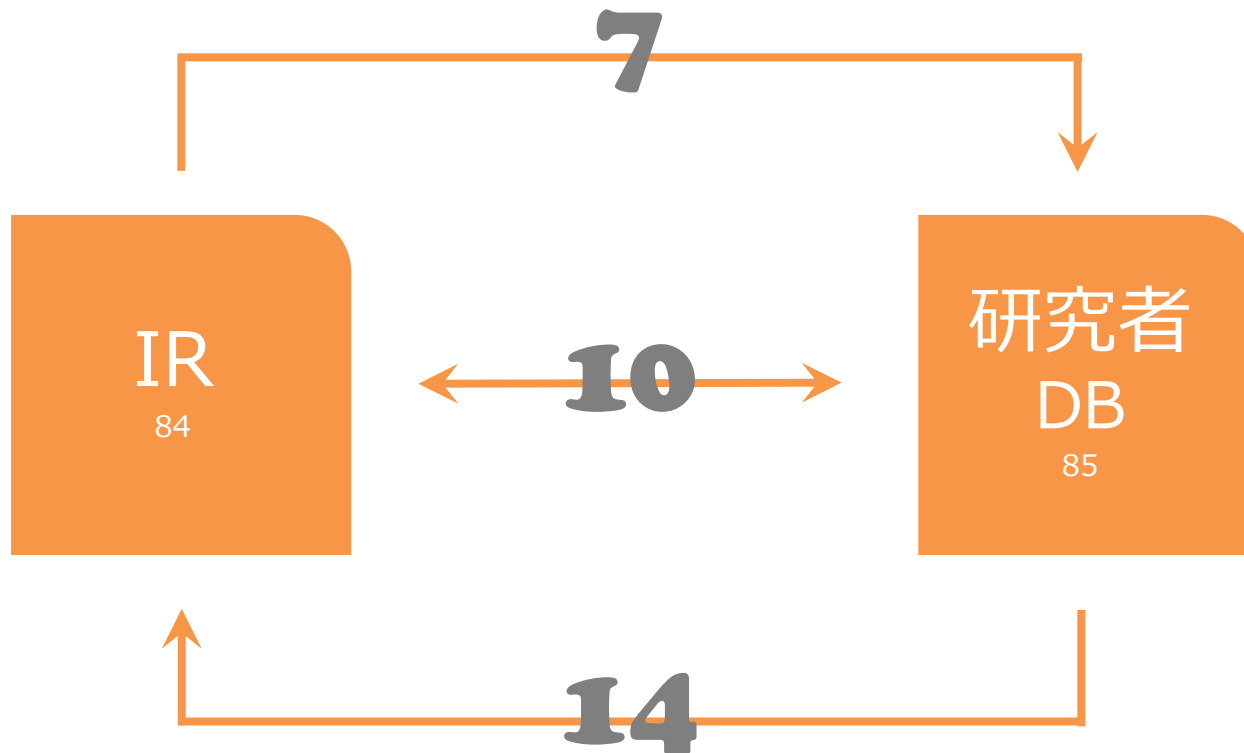
http://library.kanazawa-u.ac.jp/?action=common_download_main&upload_id=270

連携のメリット

- ① 研究者DBにはコンテンツがない
 - IR（など）へリンクするとユーザが嬉しい
- ② IRには著者プロフィールや網羅的な業績情報がない
 - 研究者DBへリンクするとユーザが嬉しい
- ③ 研究者DBはデータ入力に強制力がある
 - ついでにコンテンツも登録してもらえたら……

連携の状況

国立大学86校の調査から



信州大学附属図書館による調査(2013/10/15～31)
<http://www.tuat.ac.jp/~imcsympo/PDF/sympo2013proceedigs.pdf>

連携の難しさ

連携
システムの
構築・維持

リンク整備

人力作業の
限界

著者ID
名寄せ

それ、クラウド化で……？



JAIRO Cloudのいま

導入館の広がり

⑧ NII提供のクラウドサービス

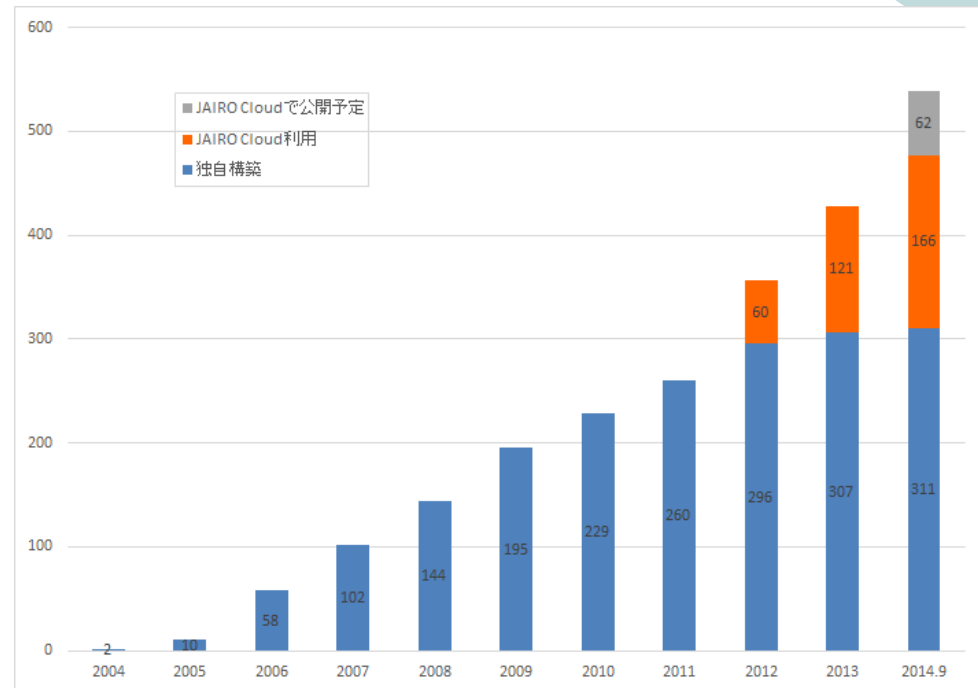
- 2012年4月スタート

⑧ 導入機関数 (2014.9)

- $166 + 62 = 228$ (539 IRのうち)
- 「JAIRO CLOUD 500機関計画」
(NII高橋さん)

⑧ 独自IRからの移行

- 済：筑波大学 (2014.5)
- 複数機関で移行実験中！





researchmapへの「移行」

日本最大の研究者データベース

⑧ JST運営／NII開発

- Researchmap (2009.4)
- Read & Researchmap (2011.11)
- researchmap (2014.4)

⑧ 登録者数：23.8万人 (2014.10)

- 日本の大学等・非営利団体・公的機関における研究者数 = 35.4万人
(2013年3月末時点。総務省統計局『平成25年科学技術研究調査』)

⑧ 登録論文数 (2013.12)

- メタデータ 517,741件
- 添付ファイル 2,293件 (0.4%)



機関としての活用へ



APIでデータ取得+独自システム



Researchmapへのリンク



全面活用？（2015.1）

http://researchmap.jp/outline/sympo2013/rrsympo2013_announcement07.pdf
http://researchmap.jp/outline/sympo2013/rrsympo2013_announcement08.pdf
<https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/news/1722/>

メリット・特徴

利用者として

- 異動・退職しても使い続けられる
(研究者情報のアーカイブ)
- 多様なインポート機能で入力省力化
CiNii, J-GLOBAL, PubMed, Amazon, etc.
Scopusも予定
→プル型からプッシュ型へ
- 外部サービスとの連携
e-Rad (グラント申請)
JREC-IN Portal (求人応募)

機関として

- 無料 (少なくとも今は)
- 継続的な機能改修
- APIによるデータの取得 (登録は×)
- 機関によるデータ更新
データ交換、担当者による更新
- インポートによるきれいなメタデータ



JAIRO Cloudと researchmapの連携

連携の現状は？

機関リポジトリ ↔ 研究者データベース



▶researchmap

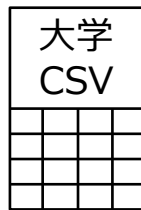
今後実装したい機能

- ① researchmapの業績データのうちJCに本文がないものに登録を促す機能（自動収集）
- ② researchmapに業績データを登録するときに、JCに本文を登録する機能
- ③ JCの著者名からresearchmapへリンクする機能
- ④ researchmapの業績データからJCへリンクする機能
- ⑤ JCのアクセス数などをresearchmap側に表示する機能

そのための第一歩：OpenDepoリポジトリ



- researchmapの業績データ（メタデータ、本文）をすべて抽出・移行したリポジトリ
- 例えばresearchmapで業績検索（全文検索も）が可能に
- リリース準備中……！



易：①②③
難：④⑤

自動業績収集エンジン

業績登録エンジン

researchmap

 hoge教授

業績

1. ○○○の分析
(m アクセス)

2. ×××の研究
(n アクセス)

OpenDepo
リポジトリ



IR連携
エンジン

JAIRO Cloud

×××の研究

 PDF

hoge 著

n アクセス

②登録

③リンク

①通知

⑤統計表示

④リンク

まとめ

- ⑧ 大学の知 ≡ コンテンツ + ひと
- ⑧ それを十分に発信するためには（いまの）機関リポジトリでは足りない。でも研究者DBとの連携を構築・維持するのは大変。
- ⑧ クラウド化でその状況を救いたい。そのために、JAIRO Cloudとresearchmapの連携を進めている。